

研究テーマ	「見る」ということを意識して描くための支援の工夫 ー小学5年生「よく見てかこう！」の実践を通してー
-------	--

日立市立滑川小学校 教諭 砂押 秀明

I 研究テーマについて

小学校高学年が写生に取り組むとき、対象物をよく見ていないことに気づいた。作品からもそれはわかることだが、描いている様子を観察すると、ちらりと対象物を見て、その後2分、3分と画用紙に向かって描く。そのような児童が大半である。そのような描き方で完成した作品には、見えないはずの部分が描かれていたり、つじつまが合わない部分が多く見られたりする。これは、見て描くのではなく、「ここはこうなっているはず」というような説明図になってしまっていたり、想像の、記号のような「花」「木」「窓」を描いてしまうことの結果と考えられる。小学校高学年の「本物のような上手な絵を描きたい。」という意識に答えるためにはどのように支援していくべきかを考えるため、このテーマを設定した。

そこで、「見る」ということを意識させる活動を取り入れることでこれらの課題を解決しようと考えた。模写を体験させ、対象物を集中して見るための補助見た物を使い、じっくりと見る活動を取り入れることで正確に写す意識を身につけさせ、想像したものを描いてしまうことや説明図のようにならないようにしていきたい。また、模写や立体物を見えたままの形で画用紙に描く体験をさせることで、そのための技能を身に付けさせる。これらの手立てにより、研究テーマに迫っていく。

II 研究の実際

1 題材名 よく見てかこう！

2 題材の目標

- 題材をよく見てかこうとする。 (関心・意欲・態度)
- 風景や物、人物など、見た物を正確に表現することができる。 (創造的な技能)

3 題材について

(1) 児童の実態

意識調査アンケート（5年2組 男22名 女18名 平成27年5月11日実施）

質 問	回 答
図工は好きですか。	好き24名 ふつう10名 嫌い 6名
好きではない理由は何ですか。	苦手だから11名 興味がない5名
好きな理由は何ですか。	得意だから12名 楽しいから11名 何となく1名

本学級の児童は意識調査では、図工が「好き」と答えた児童が、「ふつう」や「嫌い」と答えた児童を上回っている。好きではない理由では、「苦手」と答えた児童が多く、技能の面で壁に当たり、図工を敬遠してしまっている様子が見えた。

(2) 題材観

本題材のねらいは、学習指導要領A表現（2）ウ「表したいことに合わせて、材料や用具を

特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと。」にあたる。小学校高学年は絵画の発達段階では写実的な絵を描き始めるころにあたり、このころの絵画の技能面のつまずきの、「描きたい物が思うように描けない」という問題を解決する一つの試みとして本題材を設定した。模写や、素描の道具であるデスケルを使って立体物を描く技能を身につけることと、その活動を通して「よく見て」描く意識を育てることが、児童の絵画の発達の支援となると考える。

(3) 指導観

テーマに迫るための手立てとして、まず模写の活動を体験させることで、コピーをするように「見た物をそのまま描く」という意識を身につけさせる。デスケルを作成、使用して模写と同様によく見て立体（人物）を正確に描く活動を行い、模写同様に見た物そのものを描く意識を育てる。そして、牛乳パックのスコップをつかって、のぞき込んだ穴に見えた物だけをかく、という活動に取り組むことで、想像したものを描いてしまったり、「こうなっているはずだ。」というような説明的な絵になってしまったりするのを防ぎ、よく見て正確に描く力を身につけていきたい。

4 題材の評価基準

関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
題材をよく見てかこうとしている。	スコップの枠やデスケルの線をもとにして、見た物を正確にかけるように工夫することができる。	見た物を正確に表現することができる。	作品について思ったことについて話し合い、作品の良さを感じ取ることができる。

5 指導と評価の計画（4時間扱い）

時間	学 習 内 容 ・ 活 動	評 価 基 準 ・ 【 評 価 方 法 】
第1次 ①	模写のやり方を知り、取り組む。	・模写のやり方を知り、題材をよく見てかこうとしている。 関【観察・ワークシート】
第2次 ②	デスケルやスコップを使って対象物をよく見てかく。 1 デスケルを使って友達の横顔をよく見てかこう。 2 スコップを使って風景をよく見てかこう。	・スコップの枠やデスケルの線をもとにして、見た物を正確にかけるように工夫することができる。 想【観察・作品】 ・見た物を正確にかくことができる。 創【観察・作品】
第3次 ①	作品を鑑賞し合い表現の工夫を話し合う。	・作品を友人と見せ合って話し合い、作品の良さを感じ取ることができる。 鑑【観察・ワークシート】

6 指導の実際

(1) 目標

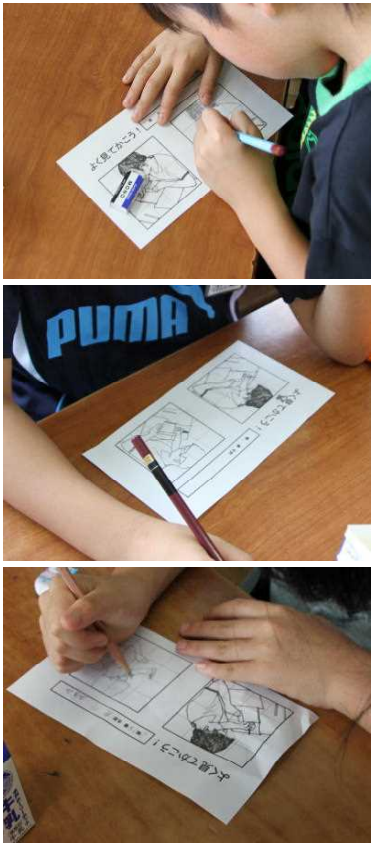
牛乳パックスコープを使って物の形を正確に描くことができる。 (創造的な技能)

(2) 準備・資料

児童：デスケル (自作)、牛乳パックスコープ (自作)、鉛筆、消しゴム

教師：模写ワークシート、画用紙、デスケル (自作)、牛乳パックスコープ (自作)、

(2) 展開

児童の活動・反応	・教師の提案
1 模写に取り組む。 (1) ガイドの線を頼りに、目印とする所と同じ所に点を打つ。 (2) 点をつながけながら、同じ形になるように描く。  ・ 5分間無言で取り組む。	・ 学習の流れを示しておき、授業開始時に確認することで見通しをもって活動できるようにする。 ・ 模写に取り組むことで、見た物を正確にかく意識をもって本時の課題に取り組めるようにする。 ・ ガイドの線で16等分した小さいサイズの正方形の絵を右の同じ正方形の中に模写させることで、短い時間(5分間)で集中力を切らさずに取り組めるようにする。 ・ 描けている部分を褒め、自信をもたせる。 ・ 描き終わらなくてもよいので、形をよく見て正確に描くように指示することで、よく見ずに適当に描こうとする意識を持たないようにする。 ・ 見た形を「鼻」「目」「頭」ではなく、「台形」「楕円形」「三角形」のように、図形でとらえるようにさせ、想像した形を描いてしまわないようにする。
2 課題をつかむ よく見て正確にかこう。	・ 課題とともに、デスケルや牛乳パックスコープを提示しながら学習の流れを説明し、児童の関心を引き出す。
3 デスケルを使って友達の横顔をよく見てかく。 ・ 2人一組になり、お互いにモデルを5分交代で務めながら友達の横顔をかく。 ・ 「動かないで。」	・ デスケルは事前に画用紙の縦横の比率に合わせて作成しておく。 ・ デスケルと同じ線を画用紙に引き、その線をガイドにして友達の横顔をかくようにする。 ・ つまづきの多い「横顔」を描く活動に取り組

- ・「耳がこんなところにあるんだ。」
- ・「目ってけっこう下の方にあるんだな。」



4 鑑賞を行う

- ・付箋に短い言葉で友だちの作品の気づいたことを書く。
- ・「本当の人の顔っぽい。」
- ・「あごがリアルだね。」
- ・「むずかしい。」

5 スコープを使って風景をよく見てかく。

- ・見た時間と同じ時間描く。



6 鑑賞を行う

- ・付箋に友だちの作品の良いところを書き、作品に貼る。
- ・「形が合ってる。」
- ・「本物みたいに描けた。」

むことで、よく見て描くことの大切さを実感させる。

- ・模写と同じ手法でかくことを知らせ、実演を見せることでデスキルの使い方が理解しやすいようにする。(片目で見ると、枠を合わせる、など)
- ・モデルをよく見ないで描いてしまう児童には見た時間と同じ時間かくように指示し、見ることを意識して描けるようにする。

- ・付箋に友達の絵の良い所を書かせることで、コツに気づかせたり、話し合い活動を活発にさせる。
- ・よく見て描いている児童を褒め、他の児童にも「見る」ことを意識させるようにする。

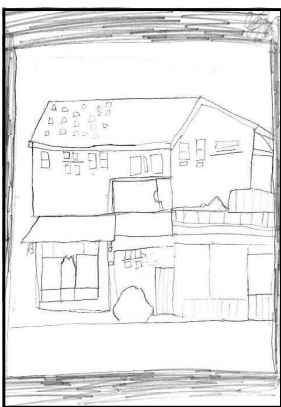
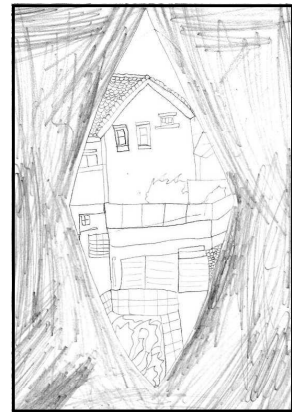
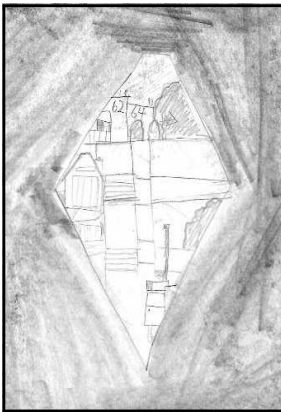
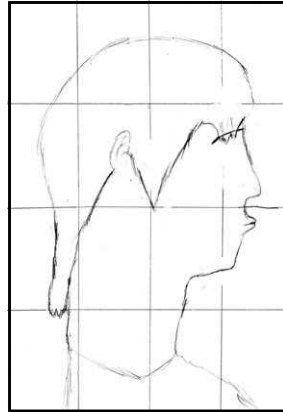
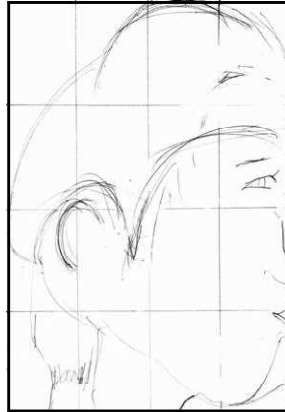
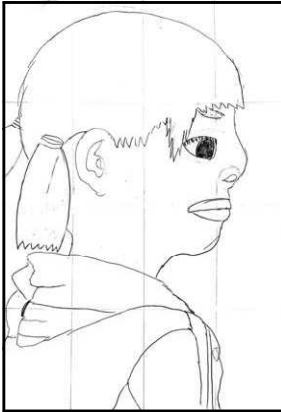
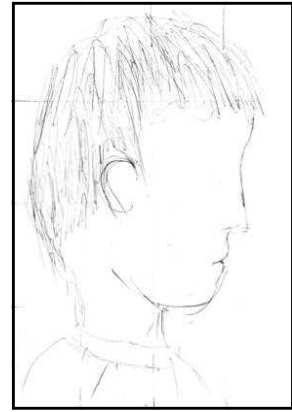
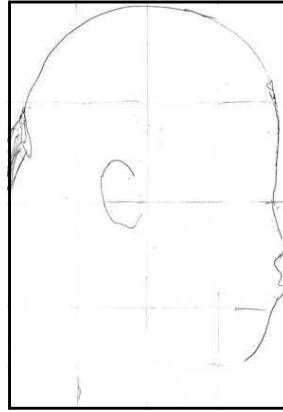
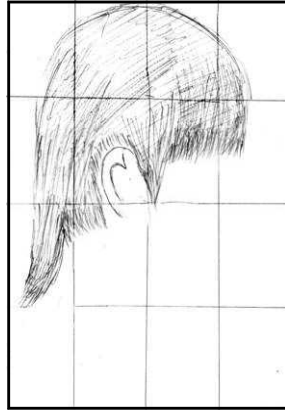
- ・スコープを作る際、牛乳パックの穴はひし形や五角形などにし、見る時のガイドとなるようにする(丸い穴だと目印が少なく使いづらいため)。
- ・スコープを覗く時は、スコープの穴の一番端の部分の部分を合わせるように指示して、ずれてしまわないようにする。
- ・視野がずれてしまう児童は、スコープを固定して、常に同じ視野になるようにする。

- ・よく見て描いているかに注目させ、友だちの作品の良いところを見つけられるようにする。

Ⅲ 研究の成果と課題

1 成果

- ・対象物をよく「見て」描く意識が身についてきた（描く時間と同じ時間見る）。
- ・模写の技能が身についてきた。
- ・横顔を図式的に描かず、見た通りに描くことができた児童が多かった。
- ・「こんなやり方初めて知った。」といった感想が聞かれた。



2 課題

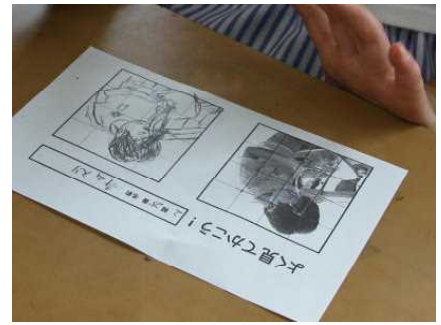
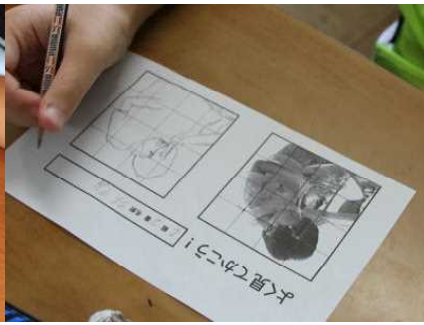
- ・デスケルがうまく使えない（どのように見て良いか分からない・見るたびにずれてしまう）児童がいた。使い方の指導が難しかった。
- ・デスケルやスコープを使っても従来通り，想像で描いてしまったり，よく見ずに描いてしまったりする児童が何人か見られ，指導してもなかなか改善されなかった。
- ・形のずれが気になってしまい，デスケルやスコープがかえって作品製作の邪魔になってしまっている様子の児童もいた。



3 授業の様子・資料など

(1) 模写





(2) スコープ



(3) 模写プリント

よく見てかこう！ 組 番 名前

よく見てかこう！ 組 番 名前

よく見てかこう！ 組 番 名前

よく見てかこう！ 組 番 名前
